

東日本大震災復興支援

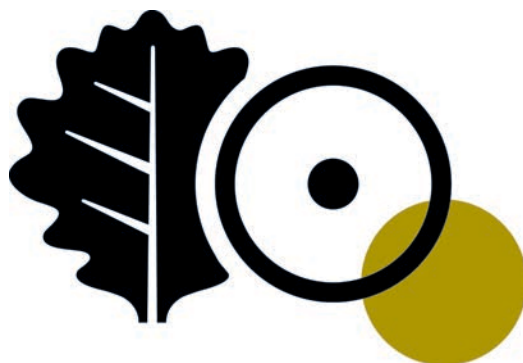
第9回寛仁親王記念ワールドグランプリ国際自転車競技大会ロードレースラウンド

2021年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ最終戦

第16回 明治神宮外苑大学クリテリウム

The 9th Prince Tomohito Memorial World Grand prix - Road Race Round

UNIVERSITY STUDENT CYCLE ROAD RACE CUP SERIES - FINAL ROUND
MEIJI-JINGU OUTER GARDEN UNIVERSITY CRITERIUM



PRINCE
TOMOHIITO
MEMORIAL
WORLD GRAND PRIX



大会概要書 OUTLINE OF THE EVENT ver.1.4 2022.01.22.

日 程/Date	2022年2月27日 (日) 27 Feb. 2022	
会 場/Venue	明治神宮外苑外周コース	Meiji Jingu Gaien Public Road Circuit
周 長/Lap	1周1.5km	1.5km per lap
主 催/Organizer	日本学生自転車競技連盟	Japan Intercollegiate Cycling Federation
後 援/Supporters	明治神宮外苑 新宿区 公益財団法人 日本サイクリング協会 公益財団法人 日本自転車競技連盟	Meiji Jingu Gaien Shinjyuku Board of Education Japan Cycling Association Japan Cycling Federation いずれも予定
会場警備/Traffic security	株式会社シミズオクト	Shimizu Octo Inc.
協 力/Cooperation	東京都自転車競技連盟 シクロチャンネル なるしまフレンド	Tokyo Cycling Federation ケイデザイン いずれも予定
協 賛/Sponsors	井上ゴム工業株式会社 株式会社イノアックコーポレーション 株式会社日直商会 株式会社パールイズミ 株式会社オージーケーカブト	IRC TIRE INOAC Corporation Nichinao Shokai ジブラルタ生命保険株式会社 有限会社横尾双輪館 ほか予定

明治神宮外苑大学クリテリウムの特徴

☆ 唯一の東京都心開催クリテリウム

2007年の日本学生自転車競技連盟創立70周年事業としての開催以来の歴史をもつ、貴重な都市型自転車競技大会。青少年スポーツのメッカ、明治神宮外苑に華をそえる、昨今の都市型スポーツ活性化の時代的変遷に沿ったイベントです。

☆ 参加チーム・主催連盟・イベントスペシャリスト一体の運営体制

参加校からのチームスタッフ・ボランティア、競技連盟審判団、警備・舞台設営専門会社スタッフが一体となった運営体制で実施します。

感染拡大リスク防止にむけた諸対策

☆ 比較的感染リスクの少ない屋外開放空間型イベント

新型コロナウイルスの感染が懸念されていますが、近年の研究成果によれば比較的感染拡大リスクが小さいとされる屋外開放空間型のイベントです。

☆ 総人数の抑制と1レースあたり参加人数の制限

当大会は以前より安全上の観点から、1レースあたりの出走人員を概ね70名以内に抑えてきています。これにより必然的に大会全体の参加人数に制限が設けられる形になり、かつ自分の出番が終わった選手は距離をとって待機することが可能です。

☆ インターネット動画配信による中継実施・来場観客数の低減化

一般通行人も存在する会場の特性から、完全無観客試合とすることは困難ですが、観戦予定者には自宅からのインターネット中継視聴を呼びかけ、来場者数を少なく抑える措置を講じます。

観戦目的の来場はせず、ご自宅等からインターネット経由の観戦おねがいします。

☆ 本連盟感染防止ガイドラインに沿った運営

本連盟制定感染防止ガイドラインに沿って、検温体制など諸施策を整え実施します。

Version20211201

時 程 表 / TIME TABLE

2月26日 (土) 26 FEB SATURDAY

14:00-17:00	第12回大学自転車競技フォーラム東京	
	(仮題) コロナ・パンデミック以降の学生スポーツのありかた	
	会場：国立オリンピック記念青少年総合センター	予定
	University Bicycling Forum TOKYO #12	

2月27日 (日) 27 FEB SUNDAY

6:00	会場設営開始/Course installation	
7:30	競技役員・立哨役員集合打合/Commissaires & Marshalls meeting	
9:00	交通規制開始/ Public traffic control start	
09:00 - 09:30	参加選手受付・ゼッケン配布/Body Number distribution	
10:00	開会式/Opening Ceremony	
10:20	オープン&ウォームアップ・ライド/Open & Warm-up Ride	1.5km×5laps=7.5km
10:50	タイムトライアル(小・中学生、ハンドサイクル、マスターズ)	1km×1 lap=1km
	TIME TRIAL (Kids, Master's, Handcycle)	
11:15	男子大学生 グループ 3 A組/Students Men Group-3A	1.5km×4laps=6km
	男子大学生 グループ 3 B組/Students Men Group-3B	1.5km×4laps=6km
	男子大学生 グループ 3 C組/Students Men Group-3C	1.5km×4laps=6km
12:00	マスターズ・クリテリウム/Masters (over 30) Criterium	1.5km×8laps=12km
12:20	表彰式 (午前の部) Awards Ceremony	
	立哨員昼食(コース閉鎖) Lunch break / circuit close	
13:00	男子大学生 グループ 2 A組/Students Men Group-2 A	1.5km×8laps=12km
13:25	男子大学生 グループ 2 B組/Students Men Group-2 B	1.5km×8laps=12km
13:50	女 子 (学連登記選手+JCF登録競技者) /Women (JICF + JCF)	1.5km×8laps=12km
14:20	男子大学生 グループ 1 (大学対抗)	1.5km×20laps=30km
	Students Men Group-1 (University Team Match)	
15:10	表彰式・閉会式 (午後の部、大学対抗、シリーズ総合)	
	Awards & Closing Ceremony	
17:00	規制解除 (予定：早まる場合があります) /End of Public traffic control	

テクニカル・ガイド

v2022.01.22.

大会日程	2022年2月27日(日)	(雨天決行、積雪・路面凍結・荒天の場合中止)
会場	明治神宮外苑周回コース 1周 1.5 km	(東京都新宿区・港区)
大会主旨	本大会は、本年度全日本学生ロードレースカップ最終戦としてその総合優勝者を決定し、またクリテリウムにおける大学対抗優勝校を決定する大会である。本大会は2007年2月に首都東京での初めてのクリテリウム大会として開催された「日本学生自転車競技連盟創立70周年記念行事 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会」を発展的に継承し、学生スポーツのメッカである神宮外苑での学生自転車スポーツの振興普及を図るとともに、日本のサイクル・スポーツ全般の振興と東京の都市文化醸成に寄与することを目的としつつ、更に将来学生自転車競技者となる若年層の拡大に向けて、小・中学生ならびにその両親の年齢層にサイクル・ロードレースの楽しみを体験する機会を提供することをも目指す。	
主催・主管	日本学生自転車競技連盟	
後援	明治神宮外苑 新宿区	
	公益財団法人日本自転車競技連盟	公益財団法人日本サイクリング協会 (予定・順不同)
会場警備	株式会社シミズオクト	
協力	東京都自転車競技連盟 シクロチャンネル ケイデザイン なるしまフレンド 予定	
協賛	井上ゴム工業株式会社	株式会社イノアックコーポレーション
	株式会社日直商会	株式会社パールイズミ ジブラルタ生命保険株式会社
	株式会社オージーケーカプト	有限会社横尾双輪館 (ほか(予定))
競技規則	国際自転車競技連合(UCI)規則,(公財)日本自転車競技連盟競技規則,本大会特別規則による。	
競技種目および参加資格		

(全カテゴリ共通事項)

・別途本連盟より発表の「**大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン**」および**大会毎の感染対策コミュニケ記載事項を順守し**、その遂行に協力し、審判・感染対策委員及び総務委員の指示に従うことを参加条件とする。

(ガイドライン) https://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2021/06/JICF_kansenboushi_guideline_V20210616.pdf

※**本大会では、参加者全員に、来場前の「PCR検査」もしくは「ワクチン2回以上接種+抗原検査」が義務付けられます。詳しくは今後発行のコミュニケを参照ください。**

・当連盟ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、および当日の体調が新型コロナウイルス罹患を疑われる場合には、それが故意であるかないかに関わらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一発生した如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、当連盟ガイドラインのみならず、所属校・居住地行政などの指針を熟慮のうえ参加可否を判断すること。

・選手・立哨員・チームスタッフ等全ての会場入場者は、体調管理シートを当連盟HPよりダウンロードして、当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って**大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録**して、当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。

・大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙に添付すること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。

(1.2.3.4.5.7.9.参加資格共通事項：本年度公益財団法人日本自転車競技連盟登録競技者)**(1.~3.参加資格共通事項：日本学生自転車競技連盟登記選手)**

参加資格は参加申込時点のクラス区分による。但し参加申込後、本大会迄の大会においてクラス3からクラス2に昇格したものは、本大会グループ2での発走とする)

(1.~5.は競技用ロードレーサー使用のこと、6.8.は自転車の制限は特にありません)

1. 大学生男子大学対抗(グループ1) 20周30km

本年度日本学生自転車競技連盟加盟各校を代表する1校あたり2名から3名までの選手。ただし日本学生自転車競技連盟ロードカテゴリ1または2の選手に限る。

本連盟が招聘したチーム、1チームあたり2名から3名までの選手。

グループ1申込者に正当理由による欠場者がある場合、当日ゼッケン配布時に、グループ2参加申込者より2名迄の補欠を起用する事ができる。また、グループ1の参加者は1名のみ、グループ2の参加申込者と交代することができる。その場合、当日のゼッケン配布時に選手交代届を選手受付に提出すること。選手個人のゼッケン番号は、グループが入れ替わっても、変更しないので注意すること。また、選手交代届については、あらかじめ学連HP上に用紙をアップするので、プリントして当日に持参すること。2名未満のチームは参加することはできない。当日欠場により2名未満となったチームはグループ2での出走を認める。

2.大学生男子グループ2 8周12km

本連盟ロードカテゴリ・クラス1または2の選手。主催者招待によりオープン参加を認める。

3.大学生男子グループ3 4周6km

本連盟ロードカテゴリ・クラス3の選手。

4.女子クリテリウム 8周12km

日本自転車競技連盟登録女子競技者で本連盟が参加を認めた者。

5.マスターズ・クリテリウム 8周12km

本年度 日本自転車競技連盟登録選手（男女）で開催年1月1日時点で満30歳以上の者。

ただし、集団スタートロードレース（JCF公認大会）走行経験者に限ります。

6.小・中学生タイムトライアル 1周1km（銀杏並木Uターンなし）

小・中学校年齢の児童・生徒で、ヘルメット&グローブ着用・自分の自転車で参加できる者。

7.マスターズ・タイムトライアル 1周1km（銀杏並木Uターンなし）

本年度 日本自転車競技連盟通年登録選手（男女）で開催年1月1日時点で満30歳以上の者。

8.オープン&ウォームアップ・ライド（レースではありません） 5周7.5km

ヘルメット&グローブ着用・自分の自転車で参加できる者。

および上記1から9に参加するすべての者。

9.ハンドサイクル・タイムトライアル 1周1km（銀杏並木Uターンなし）

本年度 日本自転車競技連盟通年もしくは臨時登録競技者（男女）

各カテゴリとも上限概ね60名（オープン&ウォームアップ・ライドは概ね100名）迄。

学生自転車競技連盟加盟各校については選手数に応じた立哨役員・競技役員と、大会本部用テントの供出を参加のための必要条件とする。

選手数	供出立哨役員数（東京および隣接県の学校）	供出立哨役員数（左記以外の学校）
1	0	0
2～3	1	0
4～5	2	1
6～7	3	1
8以上	選手2名につき1名 (少数点以下切り捨て・最低数)	選手4名につき1名 (同左)

立哨役員は、コース上の指定された箇所（合計約100カ所）に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。立哨役員は審判資格を必ずしも必要としないが、自転車競技に関する経験もしくは理解があり、自転車競技のスピード感や走行特性について体得している、当年3月31日時点で満18歳以上の者とする。立哨役員・競技役員には、交通費等は支給されない。

・大会本部用テントの供出数

大学対抗に出場する東京・埼玉・千葉・神奈川の学校から各1張。テントの大きさは特に制限はないが、大きめのものを歓迎。供出するテントの大きさ・数を電子メールで事務局に連絡のこと。持参しない場合は1万円のペナルティーを課す。

参加申込 参加を希望する選手は、**1月31日(月)午前12:00迄**に学連HP掲載の所定のエントリー用紙にて jicf.rcs.entry@gmail.com宛に申込書、**ライセンスデータ**を送付の上、参加費を支払を済ませること。

グループ1については同一期限内にユニフォーム・データ（半袖上半身）も送付すること。

同データは本連盟のユニフォーム登録にあたって提出するユニフォームデータと同じもので、ロード用半袖上半身、なるべくジャージ・メーカー作成のデータを使用のこと

振り込み先： 長野県労働金庫 諏訪湖支店 普通 9687405 日本学生自転車競技連盟
支払が完了することで参加申込受付完了となる。納入した参加料は理由のいかんに関わらず返却しない。

申込後の欠場についてはコロナ禍に鑑みペナルティは課さないが、連絡は事前に行うこと。

● 参加料は、男子大学対抗グループ1参加チームは1チーム5万円、その他のカテゴリは本連盟登記大学生6,000円、小・中学生 500円（新宿区・港区在住もしくは在学の小中学生は300円）、女子オープン8,000円、マスターズ・クリテリウム、マスターズ・タイムトライアル各8,000円、但しマスターズ・クリテリウムとタイムトライアル2種目参加時は12,000円、オープン&ウォームアップ・ライドのみの参加者は3,000円とする。

ハンドサイクル・タイムトライアルは8,000円とする。

●参加料には、駐車料金は含まない。

●今年度はプログラムへの選手顔写真掲載は行いません。

●グループ1に参加のチームは、プログラム広告を出すことができる。

広告原稿締め切り日は2月2日、締切に間に合わない原稿は掲載されない。

広告データの作成の注意点：

データの仕上がり寸法：仕上がり（高さ80mm×左右170mm）、

データの作成アプリケーションと保存方法について

PDF/ X-1a：2001形式（Acrobat4：PDF 1.3）で保存したPDFデータをお願いします。

X-1a形式であるかどうかの確認方法は、PDFを開いて、ファイルからプロパティを選び、カスタムのタブを選ぶと、値のところにPDF/X-1a2001と記載されています。

X-1a形式であれば印刷用のデータとなります。

もしくはJEPG形式で保存、またはイラストレータのデータで文字アウトラインをかけて、写真やリンクデータは埋め込み、CS6以前のデータで保存してください。

イラストレータのデータの場合、バージョンによる不具合の可能性があるので、

なるべく、X-1aの形式で保存したPDFでご入稿いただくようよろしくお願い申し上げます。

感染対策チーム責任者の届出

男子・女子クリテリウムに選手が参加するチームは、事前に、感染対策に関するチーム毎の責任者を選任して届出なければならない。この責任者は、チーム選手・スタッフ全員が本連盟感染防止ガイドラインを順守し、指示・連絡事項の伝達を徹底するなどして、感染拡大防止に努めなければならない。

事前チーム代表者会議

2022年2月24日（木）20時より、リモート事前チーム代表者会議を行う。

チーム監督・感染対策チーム責任者は出席のこと。

会議アドレスはエントリーシート記載連絡先に後日連絡する。

大会本部

聖徳記念絵画館正面スタート・フィニッシュ地点付近テント

開設時間 08:00-17:00 電話：090-2207-2369

選手受付

1.大会本部にて、9:00-9:30の間にライセンスを提示してゼッケンを受取ること。（小・中学生、オープン&ウォームアップ・ライドはライセンス不要）

事故措置

1.競技中発生した事故について参加者は自ら責任を負う。

主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応の事。

2. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入の事。

3.各選手は、健康保険証を必ず持参すること。

肖像権

本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。

会場入場

1. 本大会の観戦はインターネット配信を通じてご覧下さい。現地への来場はできるかぎりお控え下さい。

2. チームスタッフについては会場への入場者数を抑えてなるべく三密状態を避けるため、選手以外の方がスタッフとなる場合には、選手1名につきスタッフ1名を上限として会場への入場を許可します。但し、個人エントリーの場合はスタッフを最大2名までとします。尚、監督とコーチはスタッフの合計人数に含まれ、立哨員は含まれません。また、アテンダントスタッフ

の選手以外の方の全員の氏名をエントリー用紙内に記入下さい。氏名の記入がない場合には、会場への入場を許可致しません。

アテンダントスタッフは出場選手と同様に当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って大会開催14日前からの体調・体温の記録を各自記録しておき、当連盟から当該データの提出を求められた際には速やかに提出できるようにすること。エントリー用紙に記入した来場予定のアテンダントスタッフの氏名を変更する場合は、大会開催2日前の20時までに当連盟事務局あてに変更後のエントリー用紙をメールで送ること。これ以降のスタッフの変更・追加は認めません。なお、変更後のスタッフの体調・体温についても大会開催14日前からの記録を同様に提出可能にすることを条件とします。

メディア

メディア関係者が来場される場合、当連盟HPより取材申請書と体調管理シートを入手し、大会開催2日前の20時までに取材申請書をメールで事務局宛ご提出ください。また当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、必要な情報に関する書類の提出などにご協力いただくことを原則とします。なお、体調管理シートに大会開催14日前からの体調・体温についての記録を記入して保存頂き、必要に応じて提出して頂く場合があります。状況により来場をお断りする場合がありますのでご理解ください。

誓 約 書

大会主催者 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI（国際自転車競技連合）・JCF（日本自転車競技連盟）規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。（UCI規則1.1.004、JCF規則第5条2.（4））
- 2 大会（競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む）における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。（JCF規則第5条2.（9）準用）
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。（UCI規則1.1.078）
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。（UCI規則1.1.079）
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。
彼は他の者の模範とならなければならない。（UCI規則1.1.080）
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。
すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしいれたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCIおよび自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。（UCI規則1.2.079）
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。
競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。（UCI規則1.2.081）
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。
競技者は開催国における法律を順守しなければならない。（UCI規則1.2.082）

特別規則

第1条（個人順位）

最終周回のフィニッシュラインへの到達順位により順位を決定する。

第2条（大学対校順位）

大学生男子グループ1に出場の各校における上位者2名の順位合計の少ない学校順。
順位合計同等の場合はより上位者を有する学校。

第3条（周回獲得、遅れ）

主集団の後尾に追いついた競技者は1周回先行したものとみなし、周回の優位性を認める。
原則としてメイン集団より遅れた20名以下の集団の選手は直ちに失格とする。
認められる事故による遅れの場合、遅れ集団が20名以上の場合はコミッセルの判断による。
競技を中止した選手は、コースから出て、速やかにゼッケンを外すこと。

第4条（中間スプリント賞）

男子大学生グループ1の5周回目、10周回目、15周回目終了時にフィニッシュラインを1位で通過した者に中間スプリント賞として賞品を与える。
また、女子及びマスターズについては4周回目終了時にフィニッシュラインを1位で通過した者に同じく中間スプリント賞として賞品を与える。

第5条（事故）

認められる事故の場合、グループ1は最後の10周、グループ2・女子・マスターズは4周、
グループ3は2周を除き、1週のニュートラリゼーションが認められる。
器材修理は、指定されたピット（S/F地点および銀杏通りUターン部）においてのみ認められる。

第6条（飲食料補給）

飲食料の補給は認めない。

第7条（自転車）

公道を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。

第8条（無線装置）

競技者はレース中、無線装置の使用を認められない。

第9条（ギア比）

大学生ジュニア選手のギア比の制限は3月31日時点の年齢を適用して行う。
タイムトライアルのジュニア、ユースのギア比はJCF規則による。

第10条（賞典）

オープン&ウォームアップ・ライド 参加者全員に参加賞（表彰式はありません）
小中学生タイムトライアル 完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞（全員表彰台へ）
マスターズ・タイムトライアル 完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞（全員表彰台へ）
親子孫家族表彰 小中学生+マスターズ・タイムトライアル2名合計タイム最上位者に賞品
以下のカテゴリーは上位3位までを対象として準備が整い次第、表彰式を行う。
マスターズクリテリウム、女子クリテリウム、男子グループ1, 2, 3
優勝者：賞状・賞品、第2-8位：賞状。
大学対校順位 優勝校：賞状・賞品、第2-8位：賞状。
大学生男子グループ3各組上位5%は、クラス2に昇格する。大学生男子グループ2各組
ならびに大学生男子グループ1に出走したクラス2の選手の最上位者はクラス1に昇格する。
ハンドサイクル 別途定める

第11条（その他）

ボトル、食料の残り・包装等、固形物は、フィニッシュ地点およびピットにてチーム同僚が回収する
場合のみ地面に静かに落とす事が認められる。それ以外の場所でのあらゆる固形物の投げ捨ては
コース内・外、レース中・外を問わず、4000円のペナルティを科す。

注意：大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICFウェブサイト随時チェックすること。

問い合わせ先：日本学生自転車競技連盟

電子メール：jicf@remus.dti.ne.jp（問い合わせ）、entry@jicf.info（エントリー）

ホームページ：http://jicf.info

〒160-0013東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号ジャパンスポーツオリンピックスクエア408

電話・ファクシミリ 03-6804-2329

（電話は原則として毎週水曜19時～21時の間のみの対応となります。）

本連盟へのお問い合わせは電子mailにて御願いたします）

チーム広告について

A4 1 / 3 頁 グループ1大学対抗にエントリーされているチームは
広告掲出をすることができます。

広告料はグループ1エントリー料に含まれます。

原稿：高さ8cm×幅17cm

データ形式：PDF、JPEG、イラストレーターいずれか

原稿提出期限：1月27日

広告データ納品先：arai-sho@knd.biglobe.ne.jp

広告例：学連大学自転車部 新入部員歓迎

部長 XXXXXXXX

監督 XXXXXXXX

主将 XXXXXXXX

主務 XXXXXXXX

WEBサイト：XXXXXXXXXX

連絡先：XXXXXXXXXXXX

個人広告について

一口 2千円 なるべく複数口御願いたします。
氏名のみプログラムに表示させていただきます。

お申し込み期限：1月31日

お名前を電子メールで下記までお送りください。

arai-sho@knd.biglobe.ne.jp

入金先：三菱UFJ銀行（銀行コード0005）

渋谷支店（支店コード135）

普通預金0157344

口座名 日本学生自転車競技連盟 代表 倉田達樹
ニホンガクセイジテンシヤキョウギレンメイ ダイヒョウ クラタタツキ